



のびのびと、**回**んと強く、**回**っこを張れる子

長畝小学校

# のうねっ子だより



第22号 令和5年12月21日(木)



## ふるさと長畝の宝物がいっぱい！ 「のうねキッズカルタ」

～のうねの郷づくり推進協議会より長畝小全家庭に贈られました～

### 【福井新聞】

2023年(令和5年)12月15日(金曜日) 地 域 (22)

## れい北

題字・大嶋 緑 (木部小3年)

坂井支社  
☎ 0776(67)0321  
FAX 0776(67)0688  
✉ sakai@fuku  
ishimbun.co.jp  
奥越支社  
☎ 0779(66)2567  
FAX 0779(66)5667  
✉ okuetsu@fu  
kuishimbun.co.jp

### 長畝の「宝」かるたに

坂井市丸岡町の「のうね郷づくり推進協議会」は長畝地区の伝統芸能や歴史、自然な宝をテーマにした「のうねキッズカルタ」を制作し、15年まわりの力作で、この日の心と学習に用い、3年児童が楽しんだ。かるたは2008年から企画。当時の児童から読み札の五七の句を募ったが、その後選考を取り札のデザインに手間取、ようやく今年完成した。最も苦心したのは句に合う写真・動画が浮かび上がるデジタル細工も施され、タブレットに画像を表示させて楽しむ児童＝14日、坂井市長畝小。

坂井地元団体が15年かけ製作  
児童、ふるさと学習楽しく

得意だった同校元教頭の竹原誠さん(63)が、地区の祭事・日向神楽の場面や虫魚などを「チャーム」本で5年かけて仕上げた。同協議会は、札88枚のかるたを300セット作った。このうち60セットを同校に寄贈。全校児童の前で、寺本富天会長(役員が児童代表)に手渡した。贈呈式後、3年1組で早速演習が行われた。タブレットのアプリで取り札を読み込むと、画面に句や実物の写真・動画が浮かび上がるデジタル細工も施され、

児童から「すごい」「僕の写真を載せてみたい」などと歓声が上がった。授業を見学した竹原さんは「(イラストを)気に入ってくれてほっとした。かるたをどんどん使ってもらい、古里のいい所やあれる自然を、自分の目で体感し調べてくれるといい」と笑顔で話していた。同協議会では残りのかるたの使い道を検討している。(加藤佳紀)

のうねキッズカルタの贈呈式が先日行われ、カルタを作成したのうねの郷づくり推進協議会の方々より代表児童に渡されました。このカルタは長畝地区の宝を読み札に、そして読み札にちなんだ長畝地区の絵を取り札にしたものです。読み札は2008年から2015年間に、郷協が長畝小児童から募集しました。なお、取り札は、本校で教頭をしていた竹原先生が描いた鉛筆画です。長い時間をかけて完成した、のうねキッズカルタのすごい所は、ケースについているQRコードを読み取り、「COCOAR」というアプリ(無料)を入れて、取り札にかざせば、実際の写真や、説明が流れます。(ナレーションは丸岡高校生徒が担当。反応しない札一わ、そ、み、え、り、ら、や、ち、に、ね、の、め、ほーがあります。)

### 【FBC】

オリジナルかるた完成 伝統芸能など動画で紹介 小学校などが共同制作 坂井市丸岡町・長畝地区

12/14(木) 15:50 配信



FBC 坂井放送

竹原教頭も、にだし先生呈てきました。 →



【本日、子どもたちが、のうねキッズカルタを持ち帰ります。】

当初学校には60セット寄贈の予定でしたが、「全てのご家庭で、カルタに親んでいただきたい」との思いから、後日長畝小の全家庭への配付となりました。児童には、ぜひご家族や友達同士で、楽しみながら長畝の宝について知ってほしいと思います。ご家庭で、大切にお使いください。

のうねの郷づくり推進協議会の皆様、ありがとうございました。